

戦略的プロジェクト研究推進事業  
「茶葉の低温保管システムの開発と作期拡大を可能とする新品種の育成」  
研究概要図

中課題番号	18065113
中課題名	茶葉の低温保管システムの開発と作期拡大を可能とする新品種の育成
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （果樹茶業研究部門）
研究開発責任者	山田 龍太郎
研究開発責任者 連絡先	TEL：0547-45-4101
共同研究機関	鹿児島県農業開発総合センター 静岡県農林技術研究所茶業研究センター 滋賀県農業技術振興センター カワサキ機工株式会社
普及・実用化 支援組織	農事組合法人菊永茶生産組合 鹿児島堀口製茶有限会社 勝間田開拓茶農業協同組合
農林水産省内 本事業担当	生産局地域対策官 代表：03-3502-8111（内線4845）

研究課題名

茶葉の低温保管システムの開発と作期拡大を可能とする新品種の育成

茶生産現場では従事者の減少や過密スケジュール，労働条件等から工場の効率的な利用と稼働率の向上が求められている

- ◆ 低温保管を利用した稼働期間の延長
  - ◆ 品種や栽培技術を利用した作期分散
- により問題解決を目指す

### 茶葉の低温保管システムの開発と実証試験

生葉を低温保管し



香り緑茶を生産



輸出仕向け茶を生産

製茶途中の原料を  
冷凍保管し



普通煎茶を生産

### 作期拡大を可能とする新品種の育成

新品種「金谷33号」を育成し



品種登録・実証試験



被覆技術や摘採時期  
遅延による影響調査

晩生品種を選抜し



摘採時期を拡大する

開発される技術を組み合わせ1工場あたりにおける  
茶葉処理数量の2割向上が可能であることを示す

地域や目的に応じて生産者が選択出来る技術を開発し  
汎用性の高い統合型作期拡大技術の確立を目指す